

特色ある学校づくり推進事業通信

豊松小学校

R6.8.29(木)

第3号

文責 鈴木尚子

「特色ある学校づくり推進事業」とは、本校が特色ある教育を行っていくために、市から予算をいただいて活動している事業です。4月から7月までの取組についてお知らせします。

ササユリの保護活動をしています

毎年6年生は、総合的な学習の時間にササユリの保護活動に取り組んでいます。ササユリは日本だけに生息するユリの原種で、生育が遅く種子から開花するまでに7年から8年かかるといわれ、手入れをしていないところでは自然に見ることが困難な植物です。

本校ではササユリの保護活動に、継続的に取り組んでいます。今年度は、学習のはじめに市内でササユリの保護活動に取り組んでおられる方を講師としてお招きし、ササユリの保護活動を行っている理由やササユリを増やす努力等について、丁寧に教えていただきました。

ササユリについて理解を深めることができた児童は、次に学区にある「古美山園地」のササユリの管理や手入れを何十年も続けてみえる中根様からササユリの見分け方を教えていただき、校内の個体数調べを行いました。個体を探して咲いている場所にポールを立てる活動をしながら校内地図に場所を書き記します。



中根様に教えていただいたおかげで1年目の葉も見分けられるようになった6年生。ここ最近は毎年30〜40本のポールを立てるにとどまっていたが、今年はなんと80本以上もポールを立てることができました。このように先輩たちから受け継がれているササユリの保護活動を続けることは、地域の自然を守り、地域を愛する活動につながっています。

(前略) 6月の中頃から、ぼくたちのササユリ保護活動が始まった。中根さんに教えてもらったことを意識して探してみたら、ササユリの花が咲いていないだけで、たくさんあることが分かった。夢中で探していると、いつもはなかなか目がいかないところに、ササユリの花を2輪見つけることができてうれしかった。ササユリの学習をしていなかったら、そこまでうれしくなかったと思うし、見かけても感動しなかっただろう。(後略)(6年児童感想)